



2019年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2018年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 カッパ・クリエイティブ株式会社

コード番号 7421 URL <http://www.kappa-create.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小澤 俊治

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長兼経理部長 (氏名) 小林 元樹 TEL 045-224-7095

四半期報告書提出予定日 2018年11月14日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第2四半期の連結業績（2018年4月1日～2018年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	39,517	△1.5	616	110.6	734	93.0	564	119.7
2018年3月期第2四半期	40,108	0.6	292	102.7	380	77.5	256	△9.5

(注) 包括利益 2019年3月期第2四半期 565百万円 (107.4%) 2018年3月期第2四半期 272百万円 (△25.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	11.57	11.56
2018年3月期第2四半期	5.27	5.27

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第2四半期	31,397	12,263	38.9	250.76
2018年3月期	32,027	11,914	37.1	243.70

(参考) 自己資本 2019年3月期第2四半期 12,229百万円 2018年3月期 11,880百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	ー	0.00	ー	5.00	5.00
2019年3月期	ー	0.00	ー	ー	ー
2019年3月期(予想)	ー	ー	ー	ー	ー

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

(注) 2019年3月期の配当につきましては、現在、未定です。

3. 2019年3月期の連結業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	81,533	3.6	1,631	331.5	1,714	231.7	798	△1.5	16.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 — 社 (社名) 、除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期2Q	49,414,578株	2018年3月期	49,414,578株
② 期末自己株式数	2019年3月期2Q	645,448株	2018年3月期	665,048株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期2Q	48,756,993株	2018年3月期2Q	48,711,534株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（日付の表示方法の変更）

「2019年3月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、主として米国と中国の間で生じた貿易摩擦、中東における地政学的リスク、原油価格の高騰、深刻な人手不足、相次いで発生した自然災害などによって生産や輸出が減速したものの、省力化投資並びにIT投資を中心とする設備投資や災害復旧需要、旺盛なインバウンド消費などに支えられ、緩やかながら景気拡大基調が続きました。しかしながら、個人消費につきましては実質賃金の伸びが鈍いなかで、野菜をはじめ生活に身近な商品・サービスの価格が上昇したため、消費意欲の回復が道半ばの状態となっております。

外食業界におきましては、消費者ニーズの多様化や選別・節約志向に加え人件費・物流費の増加、食材価格の高騰、コンビニや食品宅配サービスなどの異業種との競合の激化など、厳しい経営環境が続きました。また豪雨や台風、地震などの天災により、外出機会の喪失による来店客数の減少などの影響がありました。

このような状況の中、当社の主力事業である回転寿司事業におきましては、より魅力的かつ付加価値の高いメニュー・商品の開発・販売を基盤としつつ、ブランド認知向上も含めた様々なプロモーション活動と、店舗オペレーションの一層の強化を通じて、既存顧客の満足度向上と新規顧客の獲得に努めたことで、既存店昨対比は堅調に推移いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は395億17百万円(前年同四半期比1.5%減)、営業利益は6億16百万円(前年同四半期比110.6%増)、経常利益は7億34百万円(前年同四半期比93.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は5億64百万円(前年同四半期比119.7%増)となりました。

次に事業の種類別セグメントの概況をご報告申し上げます。

<回転寿司事業>

メニュー・政策におきましては、地中海産の大型本鮪大とろ、天然生車海老、北海道産ブランド魚の北釧いわしなどのこだわりの素材を活かしたフェア商品を販売してまいりました。また、多様化するお客様の嗜好にお応えすべく、サイドメニューの強化にも継続して取り組み、なかでも本年6月に販売を開始した有名店監修の「海老ラーメン」は、当社史上最速で10万食の販売を達成し、新たな来店動機の創出に成功いたしました。

プロモーション活動におきましては、引き続き回転寿司らしい「美味しさ」・「楽しさ」を表現したTVCMを放映すると共に、人気アニメとのコラボレーション、各地域のテレビ局とのタイアップ商品の限定販売といった様々な企画を開発・実施することで、新たな顧客層への認知拡大を図ってまいりました。更には、本年9月より「かっぱ寿司」全店舗において「dポイント」を導入し、お客様の利便性向上や来店動機の拡大に努めてまいりました。

店舗オペレーションの観点では、引き続き商品・サービスのクオリティ向上を最優先としながら、商品提供時間やウェイティング・タイムの短縮に向けた活動を強化し、不満足要因の排除とお客様満足度の持続的な向上に取り組んでおります。

他方で、西日本での豪雨や度重なる台風の上陸により、一部の店舗において、設備破損、断水・停電等に伴う数日間の休業及び営業時間の短縮が発生いたしました(現在は全て復旧しております)。

加えて、積極的に店舗資産の活性化を図るべく、不採算店舗を中心に当第2四半期連結累計期間において13店舗を閉店した結果、当第2四半期末の店舗数は335店舗となりました。

以上の結果、回転寿司事業の売上高は330億44百万円(前年同四半期比2.6%減)となりました。なお、当第2四半期連結累計期間における売上高既存店昨対比は101.5%となります。

<デリカ事業>

デリカ事業におきましては、コンビニエンスストアを中心とした寿司弁当・調理パン等に関し、既存顧客における取扱商品の拡充、新規取引先の発掘など販売強化に取り組むと共に、各拠点間での生産移管等を通じて、生産能力の充実と効率化を図っております。

以上の結果、デリカ事業の売上高は64億72百万円(前年同四半期比4.7%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結累計期間における総資産は313億97百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億29百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が2億24万円減少、売掛金が1億円減少、未収消費税等が3億12百万円減少したことによるものです。

(負債)

当第2四半期連結累計期間における総負債は191億34百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億78百万円減少いたしました。これは主に、買掛金が4億78百万円減少、社債及び1年内償還予定の社債が5億55百万円減少したことによるものです。

(純資産)

当第2四半期連結累計期間における純資産は122億63百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億48百万円増加いたしました。これは主に、配当金の支払2億43百万円による減少、親会社株主に帰属する四半期純利益5億64百万円により利益剰余金が増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成30年4月27日の「平成30年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,617	7,392
売掛金	2,080	1,979
商品及び製品	340	393
原材料及び貯蔵品	299	295
未収消費税等	345	33
その他	1,314	1,467
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	11,996	11,560
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	29,259	28,726
機械装置及び運搬具	4,229	4,296
工具、器具及び備品	4,528	4,581
土地	2,986	2,986
リース資産	2,120	2,195
建設仮勘定	58	2
減価償却累計額	△30,476	△30,002
有形固定資産合計	12,707	12,786
無形固定資産		
	287	329
投資その他の資産		
投資有価証券	852	854
敷金及び保証金	5,779	5,506
その他	324	291
貸倒引当金	△9	△9
投資その他の資産合計	6,946	6,642
固定資産合計	19,942	19,758
繰延資産		
社債発行費	88	78
繰延資産合計	88	78
資産合計	32,027	31,397

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,874	3,396
短期借入金	249	249
1年内返済予定の長期借入金	826	809
1年内償還予定の社債	1,110	1,110
未払金	1,573	1,845
未払費用	1,764	1,667
リース債務	393	357
未払法人税等	427	305
未払消費税等	404	454
賞与引当金	159	191
株主優待引当金	102	111
店舗閉鎖損失引当金	155	136
その他	267	789
流動負債合計	11,309	11,424
固定負債		
社債	3,795	3,240
長期借入金	800	400
長期末払金	2,234	2,033
長期預り保証金	93	107
リース債務	438	470
資産除去債務	1,388	1,388
繰延税金負債	14	14
その他	38	54
固定負債合計	8,803	7,709
負債合計	20,113	19,134
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,800	9,800
資本剰余金	2,263	2,272
利益剰余金	445	765
自己株式	△624	△606
株主資本合計	11,884	12,231
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△4	△2
その他の包括利益累計額合計	△4	△2
新株予約権	34	34
純資産合計	11,914	12,263
負債純資産合計	32,027	31,397

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
売上高	40,108	39,517
売上原価	19,326	19,359
売上総利益	20,782	20,157
販売費及び一般管理費	20,489	19,541
営業利益	292	616
営業外収益		
受取利息	29	26
受取配当金	44	36
受取家賃	116	110
自動販売機収入	32	29
雑収入	37	62
営業外収益合計	260	265
営業外費用		
支払利息	26	22
社債利息	8	18
賃貸収入原価	105	92
為替差損	9	—
雑損失	22	14
営業外費用合計	172	147
経常利益	380	734
特別利益		
固定資産売却益	2	4
特別利益合計	2	4
特別損失		
固定資産除却損	19	46
減損損失	37	—
店舗閉鎖損失引当金繰入額	13	11
特別損失合計	70	57
税金等調整前四半期純利益	312	680
法人税、住民税及び事業税	117	116
法人税等調整額	△61	—
法人税等合計	56	116
四半期純利益	256	564
親会社株主に帰属する四半期純利益	256	564

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
四半期純利益	256	564
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	1
為替換算調整勘定	15	—
その他の包括利益合計	15	1
四半期包括利益	272	565
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	272	565

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	312	680
減価償却費	831	806
減損損失	37	—
賞与引当金の増減額（△は減少）	△115	31
店舗閉鎖損失引当金の増減額（△は減少）	△19	△18
受取利息及び受取配当金	△73	△63
支払利息及び社債利息	34	41
固定資産除却損	19	46
固定資産売却損益（△は益）	△2	△4
為替差損益（△は益）	9	—
売上債権の増減額（△は増加）	△132	100
たな卸資産の増減額（△は増加）	13	△49
仕入債務の増減額（△は減少）	△409	△478
未払金の増減額（△は減少）	76	89
未払費用の増減額（△は減少）	△153	△97
未収消費税等の増減額（△は増加）	23	312
未払消費税等の増減額（△は減少）	185	49
その他	△244	599
小計	393	2,046
利息及び配当金の受取額	44	40
利息の支払額	△40	△40
法人税等の支払額	△136	△226
営業活動によるキャッシュ・フロー	260	1,820
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△199	△328
無形固定資産の取得による支出	△54	△100
敷金及び保証金の差入による支出	△45	△1
敷金及び保証金の回収による収入	43	59
その他	36	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△220	△371

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△1,036	△416
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△223	△218
社債の発行による収入	2,941	—
社債の償還による支出	△270	△555
割賦債務の返済による支出	△166	△293
自己株式の処分による収入	20	26
配当金の支払額	△0	△216
その他	10	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,275	△1,673
現金及び現金同等物に係る換算差額	13	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,330	△224
現金及び現金同等物の期首残高	4,493	7,617
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,824	7,392

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。